

| | | | |
|------|---------------|------|-----------------|
| 助成者 | 田中 樹 | 活動期間 | 2020年4月～2024年9月 |
| 所属機関 | 学校法人常翔学園 摂南大学 | 職名 | 農学部 教授 |

ベトナム中部山間部での地域資源と在来知の活用による 生態系保全、生計向上および社会的弱者層の支援に資する在地生業群の創発と展開

【活動場所】 ベトナム 中部トゥアティエンフエ省の山間地域（ホンチャ県ホンティエン郡）

【事業目的】 貧困問題と環境荒廃が連鎖するベトナム中部少数民族居住地域において、潜在的な地域資源を活用し、地域住民の目線に立った具体的な活動内容を通じてそれらが相乗的に連動することにより、貧困の削減、土地資源や生態系の保全、安全・安心で付加価値の高い産品生産による地域経済の振興などへ貢献することを目的とする。



【活動内容】

- ①在来ミニブタの飼養 ②野生鶏交配種の飼養 ③セイヨウミツバチの周年庭先養蜂
- ④野生ミツバチ養蜂 ⑤発酵飼料の調製（小家畜飼養用） ⑥ヤギ飼養

【活動成果】

事業前半はコロナ禍や洪水の発生、アフリカ豚熱の流行などで事業開始の延期や期間の延長などを余儀なくされた。参加予定していた世帯・青年世代も就業機会を求め都市へ出稼ぎに出るなど、活動地域の環境も大きく変化した。その中で残った中核メンバー1名が精力的に活動へ取り組み、その活動状況に感化されて2年目に1名、3年目に4名が加わり、最終的には養蜂を除き活動内容そのものは想定以上に進捗した。特に住民自らの意志で活動内容を修正し、自己資金を負担して活動を継続・拡大させ、SNSを利用して自ら販売活動を展開するなど、自立的かつ持続的な活動に成長していったことは特筆される。また、土壌侵食対策としての等高線状の植生帯の設置や飼料作物の栽培など、資源・生態系保全への取り組みも盛り込まれるようになった。これからも新規参加者が増えていくことが期待できる。

